



観光DXによる地域経済活性化に関する 先進的な観光地の創出に向けた実証事業

成果報告書

「なら観光DXPF」による周遊及び地域経済循環促進事業

なら観光DXPF実装チーム

2025年2月27日



目次

1. はじめに

2. 地域の魅力・特徴

1. 奈良県

3. 地域が目指す姿

1. 中長期・実証事業期間の目的

4. 実証事業

1. 全体像

2. 目標設定・取組内容

3. 各取組の詳細

取組1. 既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

5. 総括

1. 実証事業の成果

2. 今後の展望

6. 実施体制

1. 体制図

7. おわりに

別添「なら観光DXPFの投融資評価での活用イメージ」

別添「なら観光DXPF取得データの見える化ツール」

別添「AIRコメンドマップデータ分析結果」

1.はじめに

1.はじめに

「観光DXによる地域経済活性化に関する先進的な観光地の創出に向けた実証事業」において、推進する実施主体を示します。

コンソーシアム名

なら観光DXPF実装チーム

実施主体

■ 代表団体／企業

一般財団法人奈良県ビジターズビューロー（NVB）

■ 活動地域

奈良県

■ 活動概要・経歴

なら観光DXPF実装チーム

2023年11月に奈良県での観光DX実装、地域の観光事業者・DMO・地域金融機関が一体となる新たな産業共同体を構築するために組成。

2.地域の魅力・特徴

2.地域の魅力・特徴

1.奈良県

地域の魅力、特徴を示します。

魅力

奈良県は北部には世界遺産となっている奈良市等の観光地があり、また、中部から南部にも明日香・橿原・櫻井、吉野・十津川・天川村といったインバウンドを含めた誘客促進が期待できる、文化的にも歴史的も日本のふるさとといえるエリアを有している。

特徴

- ・現状では、インバウンドを中心に、北部、特に奈良市への一極集中がみられる。
- ・中部から南部にかけての第一級コンテンツを持つエリアについては、「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」を活用しつつ、和歌山県、三重県とも連携しつつ、高付加価値旅行者に向けたコンテンツ開発、プロモーション等を戦略的に進めているところ。

取組エリア

奈良県全域

2.地域の魅力・特徴

1.奈良県

地域の魅力、特徴を示します。

特徴

- ・現状では、インバウンドを中心に、北部、特に奈良市への一極集中がみられる
- ・中部から南部にかけての第一級コンテンツを持つエリアについては、「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」を活用しつつ、和歌山県、三重県とも連携しつつ、高付加価値旅行者に向けたコンテンツ開発、プロモーション等を戦略的に進めているところ。

戦略コンテンツ

コアゾーン

KII

1)高野山

日本仏教の一大聖地。100以上の寺院からなる宗教都市。今なお人々の信仰の場であり、エリア全体が神聖な雰囲気包まれている。宿坊での宿泊や修行体験により、観光客もその信仰心に触れることができる。

2)熊野/那智勝浦 ※東紀州含む

熊野三山を有し、熊野古道を巡って全国から巡礼者が参拝に訪れた場所。自然崇拜を起源とする社寺や紀伊山地特有のダイナミックな景観が多く残る。

3)明日香/橿原/桜井

日本建国の地であり、多くの古墳や田園風景が現在も存在し、古代文化の姿が今も色濃く残る。

4)吉野/十津川/天川村

修験道と山岳信仰の聖地。修験者の修行の道「大峯奥駈道」が吉野から熊野へ続き、今も多くの修験者が訪れる。本格的な修験道の修行ができる数少ない場所。修験者の宿場町として栄えた温泉地も昔の佇まいを残す。また、熊野古道の一部にもなっており、紀伊山地にある秘境の地。

5)伊勢志摩（連携モデル地域）

日本人が信仰する神道の神であり皇室の御祖先である天照大御神をお祀りする伊勢神宮があり、古くから熊野三山とは熊野古道伊勢路でつながる。リアス式海外の独特な地形から海産物が豊富で、真珠養殖、海女漁など独特な文化が育まれている場所。

3.地域が目指す姿

3.地域が目指す姿

1.中長期・実証事業期間の目的

地域の現状及び課題、中長期的に目指す姿や実証事業の目的を示します。

現状及び課題

- 明日香・橿原・櫻井、吉野・十津川・天川村といった一級のコンテンツを持つエリアにおいても、コロナ禍からの回復水準、宿泊割合などが奈良市に対して大きく劣後している。こうした県内地方部を稼げる地域にすることが必要。
- HPを持たない宿泊事業者が相当数であるなど、DX導入にあたっては懇切丁寧な指導・フォローが必要であるが、DMOのマンパワーではこうした対応が出来ない。

実証事業の 目的

- 地域の観光産業全体を持続可能なものへと変革することを目指し、地域の観光に関連する予約・販売、仕入、投融資までの一連の商流データの見える化と活用によって、経済循環を高める。
- あわせて、これをマネジメントする地域の観光事業者・DMO・地域金融機関が一体となる新たな産業共同体を構築する。

中長期的に 目指す姿

観光事業者・DMO・地域金融機関を核とした持続可能な地域経営を実現する

そのために、地域の観光産業全体を持続可能なものへと変革することを目指し、地域の観光に関連するデータ流通・活用を具体化するとともに、地域の観光事業者・DMO・地域金融機関が一体となったあらたな産業共同体を構築する。

4.実証事業

1.全体像

凡例
→お金の流れ／アクション
→データの流れ／アクション



4.実証事業

2.目標設定・取組内容

実証事業のゴールと目標値、実証事業の内容・概要・目標を設定します。

KGI

ゴール : 観光事業者・DMO・地域金融機関を核とした持続可能な地域経営を実現する取組の初年度として、基盤が整うこと

目標値 : 観光売上高の向上 : 1,920万円

取組

概要

目標

頁

取組1

既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

※既存システム:「奈良県在庫管理システム」
(予約・決済、在庫管理、CRMが可能)

既存システムの拡張として、なら旅ネットの本実証事業特設ページへのAIレコメンド機能を追加。また、特設ページへの誘導促進、地域の観光事業者のネットによる売上増を実現

「インバウンド対応プロモーションの実装」(＝実装・検証)
「インバウンド対応の成功体験の創出」
観測指標: 増加コンテンツ数、AIレコメンド利用件数

P.18

取組2

KPI

「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

なら観光DXPFへの参画事業者のリストアップと勧誘、なら観光DXPF登録事務局を設置・登録作業を代行、既存OTAを主要販路とする宿泊事業者の参画促進

持続可能な「中小事業者参画支援体制の確立」
観測指標: 打診用事業者リスト数

P.29

取組3

「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

なら観光DXPF取得データに、観光事業者の「取引等情報」等を追加、取得データの投融資評価スキームでの活用可能性の評価、取得データの見える化ツールの作成

「意欲ある観光産業事業者を支援する体制の構築」(＝地域金融機関を含む産業共同体)
観測指標: 人流・売上を把握する地域数(4地域)

P.35

4.実証事業

2.目標設定・取組内容

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

現状及び課題と課題解決に向けた取組内容を示します。

現状・これまでの取組

- ・食と歴史を楽しむためのコンテンツの掘り起こし、「ぐるっとオーベルジュ」のネットワーク化、情報発信等の取組を通じたガストロノミーツーリズムの推進及び拠点化。
- ・「奥大和ワーケーション」（南部東部振興課）、「奈良農家民泊」（ならの観光力向上課）といったホームページによる地方部のプロモーション。

明らかになった課題

- ・明日香/橿原/櫻井、吉野/十津川/天川村といった一級のコンテンツを持つエリアにおいても、コロナ禍からの回復水準、宿泊割合などが奈良市に対して大きく劣後している。こうした県内地方部を稼げる地域にすることが必要。

取組内容

概要 既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築（既存システムへの集客・AIレコメンド機能追加）
内容

- ①既存HP等の関係整理及びマップ導入箇所特定（最大アクセス数が得られる箇所）／②レコメンド機能の開発（旅行者が趣味や行動の予定などを入力、それに応じたレコメンドを行う）／③レコメンド対象コンテンツの特定・実装（本事業で実施するプロモーション（検討中）に適するコンテンツ）／④プロモーション計画（新規掲載コンテンツの旅行商品化、バスチケットとのコンバイン販売等を検討中）／⑤プロモーションの実施／⑥売上等KPIの把握・評価

ターゲット：2024年秋季の奈良県訪問意向者

観測指標：増加コンテンツ数（20件※プロモーション用に作りこんだコンテンツ）、AIレコメンド利用件数（3万件／3か月）、予約件数／レコメンド利用件数（10%）

4.実証事業

2.目標設定・取組内容

取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

現状及び課題と課題解決に向けた取組内容を示します。

現状・これまでの取組

- ・2021年度「奈良県在庫管理システム」を導入。
- ・説明会等を数度開催するも、参加事業者数は伸び悩んでいる。

明らかになった課題

- ・DX導入に当たっては懇切丁寧な指導・フォローが必要だが、DMOのマンパワーでは対応が出来ない。
- ・成功事例の創出・提示が必要
⇒結果、a.観光売上高、b.地域還元額、c.観光関連投融資額、d.事業者のDXリテラシーが向上出来ない。

取組内容

概要

「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

内容

(1)参画事業者のリストアップ

①観光協会・商工会等経由での登録募集（説明会開催、有望事業者のリストアップと打診等）／②金融機関顧客・なら観光DXPFに適した業態事業者のリストアップ

(2)登録事務局の設置、対象事業者への訪問・登録支援、問合せ対応

①登録事務所の開設／②問い合わせマニュアル・登録マニュアルの作成／③訪問日程調整、登録支援／④実証実験による成果の確認・共有（成功事例及び今後のPF運営者としての支援策の報告等。これにより、PFを活用した成功事例を参考にした経営効率化につなげる）

ターゲット：モデル地域等の中小事業者

指標 KPI：PF参加事業者数（100事業所）

観測指標：打診用事業者リスト数（400事業所）

4.実証事業

2.目標設定・取組内容

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

現状及び課題と課題解決に向けた取組内容を示します。

現状・これまでの取組

- ・金融機関による投融資時には定量評価に加え、定性評価を加味した総合的判断を行っている。
- ・事業者から観光客に対しての地域貢献度合いを伝えきれておらず、SDGsを意識したレスポンスリストへのアプローチが不足している。

明らかになった課題

- ・投融資時の定性評価に客観的データが少なく、観光関連事業者の潜在的な投資機会の把握が難しい。
- ・SDGsを意識した観光を行う高付加価値旅行者に対して訴求する地域への貢献度を示す客観的データが少ない。

取組内容

概要 「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

内容

①現状の投融資評価スキームのレビュー／②評価ツールの仕様検討（必要指標・精度等）／③事業者アンケートによる取引等情報の把握／④評価ツールの開発／⑤銀行担当部署による評価・改善ポイントのレビュー／⑥OTA等による評価・改善ポイントのレビュー

ターゲット ：（地域金融機関、OTA等）

観測指標 ： 地域を把握する地域数（4地域）、取引情報把握対象事業所（50事業所）

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■「なら旅ネット」へのAIレコメンド機能付き特設ページの設置

今後、なら観光DXPFへの登録コンテンツの販売促進活動を強化
第一弾として、2024秋のキャンペーンを実施

20240916

今、ならで体験してほしいものを紹介。また、旅行者の好みにあわせたAIによるオススを地図に表示



なら旅ネット：

奈良県ビジュアルビューローが運営する奈良県の観光情報サイト。1,000を超える県内コンテンツやモデルコースの紹介の他、一部商品については「奈良県在庫管理システム」を活用した予約・決済が可能。

本事業による特設ページ：

なら旅ネットのトップページからリンクする（「いま奈良に来たら体験してほしいもの」）。本事業で開発・新たに予約・決済が可能となったコンテンツの掲載、また**利用者の嗜好に沿ったコンテンツをAIがレコメンド**し、地図上で表示・紹介するAIレコメンドマップを設置している。

AIレコメンドマップの利用イメージ



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■ AIレコメンドの概要

AIレコメンドマップの利用イメージ



位置情報: “AIレコメンド開始時に許諾”

趣味嗜好: “AIにあなたの好きなものを教えてね” (以下のジャンル別選択肢から最低5つ)
観光: 14、スポーツ: 12、アウトドア: 6、インドア: 6、和食: 15、洋食: 8、中華: 4、麺類: 5、ドリンク: 4、多国籍料理: 3、スイーツ: 6、雰囲気: 2、番組タイプ: 7、映画タイプ: 5、観劇タイプ: 3、ファッション: 11、美容: 4、ファッションアイテム: 4

状況・気分: “AIにあなたの今の状況を教えてね”
誰と行く／交通手段／空き時間／今の気分

これら情報を処理し、
適切なコンテンツを
レコメンド

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■ なら旅ネットにおけるAIレコメンド機能付き特設ページの設置 20250129時点

<https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/dxpf/#digitalmap>



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■ KGI（観光売上高の向上：1,920万円）の達成に向けた状況

2.目標管理

(2)KGI・KPI進捗

■数値進捗

項目	目標項目	目標数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
KGI	売上(万円)	1,920万円	－	30万円	105万円	653万円	1,216万円	1,790万円	1,920万円
	進捗率(%)		－	2%	5%	34%	63%	93%	100%
	実績	1,920万円	－	0万円	0万円	0万円			
	進捗率(%)	100%	－	0%	0%	0%			
KPI	PF参加事業者数	100事業者	10事業者	40事業者	60事業者	80事業者	90事業者	95事業者	100事業者
	進捗率(%)	100%	10%	40%	60%	80%	90%	95%	100%
	実績		0事業者	3事業者	6事業者	6事業者			
	進捗率(%)		0%	3%	9%	9%			

月次報告書

「なら観光DXPF」による周遊及び地域経済循環促進事業
<10月分>11月8日 16:30～（報告対象：～10月31日）

■実績報告

課題1：登録コンテンツ数（事業者数）の伸び悩み、
課題2：コンテンツ販売特設ページアクセスの伸び悩み

この2点が顕在化

⇒目標再設定案、課題の詳細分析と対応策

4.実証事業

3.各取組の詳細

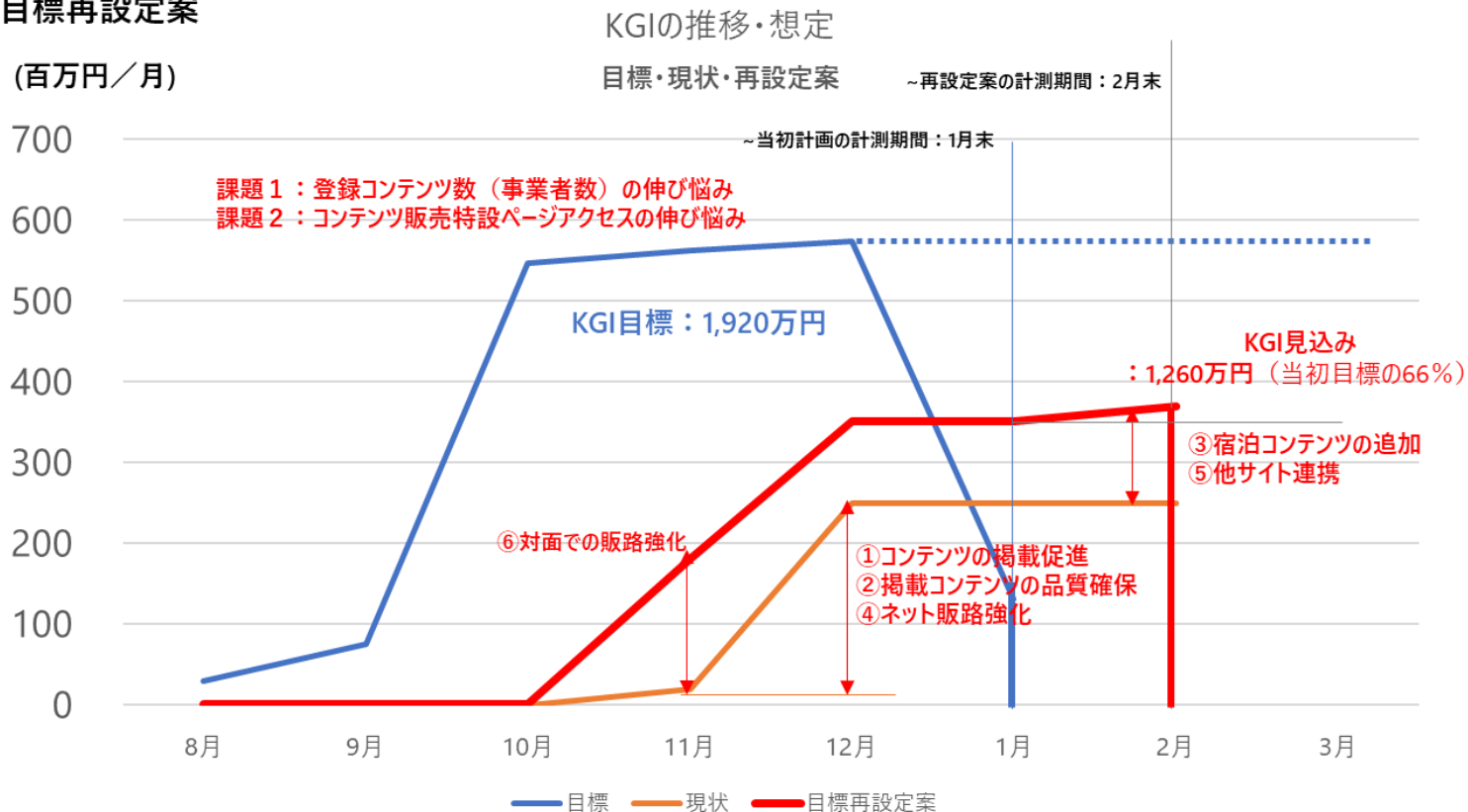
取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■ KGI（観光売上高の向上：1,920万円）の達成に向けた状況（目標見直し）

2.目標管理

(2)KGI・KPI進捗

■ 目標再設定案



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■ KGI（観光売上高の向上：1,920万円）の達成に向けた取組・戦略の見直し・追加

10月末時点でのKGI・KPI達成状況を踏まえ、以下のようなKGI確保方策を検討・実施

項 目	当初想定	改善策
①コンテンツの掲載促進	100事業者から200コンテンツを掲載 ⇒HP等での周知不足、勧誘マンパワー不足等により、想定通りに進捗せず	ターゲット（欧米豪インバウンド）を明確にし、効果が見込める事業者・コンテンツに絞って参画を促進
②掲載コンテンツの品質	対応は検討せず ⇒商品、写真、説明文等のレベルがさまざま	ターゲットに見合った内容となるようアドバイスを実施、品質確認責任者を設置
③宿泊コンテンツ	小規模でOTAを利用していない事業者を対象 ⇒アプローチが困難	国内主要サイトコントローラーとのシステム連携が可能となり、OTA利用事業者を勧誘
④ネット販路強化	対応は検討せず ⇒販売伸び悩みへの対応として追加	なら観光DXPF・特設ページ以外からの導線（Google Things To Do／Google Accomodation）を形成
⑤他サイト連携		コンソーシアムメンバーが運営する別サイトにリンクを設置・誘導
⑥対面での販路強化		ツアーガイドによる勧誘、宿泊施設を中心としたチラシ配布（24施設・計2,500枚）

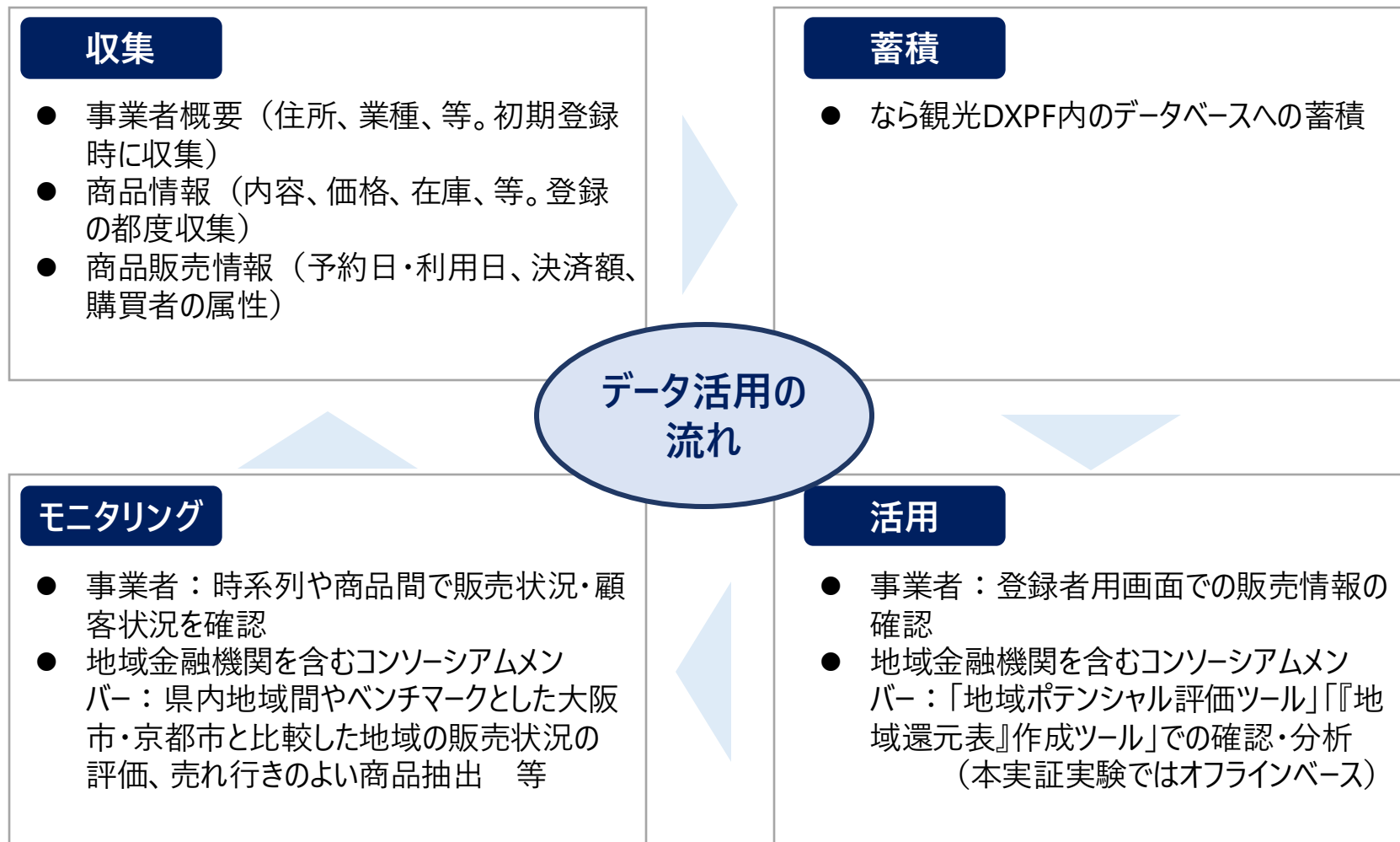
「①掲載コンテンツの促進」「②掲載コンテンツの品質」「④ネット販路強化」は、
取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進にも関連

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

データ活用の流れを示します。



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■ まとめ

- AIレコメンドマップに22事業者の予約・販売コンテンツ及び465の観光スポット情報を掲載した。
- AIレコメンドマップを活用したプロモーション開始当初（2024年10月）に約200人／週であったユニークユーザー数が、1,000人以上／週に拡大した。
- なら観光DXPFの利用に適したコンテンツ・事業者（①体験型コンテンツ（食を含む）、②インバウンド向けに注力）がわかった。

■ 目標

「インバウンド対応プロモーションの実装」（＝実装・検証）

「インバウンド対応の成功体験の創出」

観測指標：増加コンテンツ数、AIレコメンド利用件数

■ 結果

今後、本実証事業とは別に実施しているNVBによるネット販売事業をなら観光DXPFに一元化していくことを考慮すると、実証実験期間内で800万円超となる売上を実現した。うち、実験が有効だったとの声があった事業者の事例、今後の事業者参加の方向性を取りまとめた。

観測指標：増加コンテンツ数（23件）、AIレコメンド利用件数（1,000件以上／週）

■ 結果の推移

	数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	最終実績
売上	1,265万円 （当初目標の66%）	—	5万円	10万円	15万円	195万円	545万円	895万円	1,265万円	1,265万円
実績		—	1万円	2万円	2万円	32万円	258万円	641万円	822万円	822万円
進捗率(%)	対見直し目標	—	0.1%	0.2%	0.2%	2.5%	20.4%	50.7%	65.0%	65.0%

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■ 成功事例のとりまとめ

< 個別事例 >

「飲食店A」へのインタビュー結果を踏まえて

コンソーシアムによる支援内容

- a.「なら観光DXPF」への初期入力支援（事業者情報・決済関連情報・商品情報）
- b.商品紹介ページの品質向上アドバイス（写真等の選定、商品手じまい時期の設定）

ポイント：本事業を通じて、インバウンドを新規にターゲットとすることが出来た

- ✓ ①インバウンド向け商品が開発できた、②無断キャンセルや翻訳の不安なく商品掲載が出来た、③IT活用支援／商品開発支援が有効だった、④引き続きインバウンド向け商品の充実を図っていきたい

< 全体評価 >

本実証事業を通じて、なら観光DXPFへの掲載が有効なコンテンツ・活用が期待される事業者等は、①体験型コンテンツ（食を含む）、②インバウンド向けに注力を考えている事業者（事前予約・決済による労務削減、無断キャンセル防止、インバウンド向け価格戦略実現 等が寄与）といったものであることが判明。

他方、既に国内外OTAを活用している宿泊事業者については、なら観光DXPF利用によるメリット（一元的な顧客管理・分析、体験型等の他コンテンツとの同時予約による販売促進、地域金融機関との連携 等）の訴求力が不足、利用を促すことが出来なかった。なお、これらメリットを本実証実験で検証する予定であったが、そもそもの参加を得られなかったことが反省点。

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築

■ 注力した点・工夫した点

項目	主な活動	結果
(既存のNVBコンテンツホームページ「なら旅ネット」への) ニーズがあるユーザーにAIレコメンド機能を提示するための工夫	AIレコメンド機能は“体験”を探す際に有効。本実証実験用の特設ページを「いま奈良に来たら、体験してほしいもの特集」とし、AIレコメンド機能のニーズがあるユーザーを誘引できるようにした。	「なら旅ネット」の閲覧状況を分析し、トップページからのリンクに加えて、各ページから特設ページへのリンクを設けることで、ユニークユーザー数の大幅増につながった。
AIレコメンドマップを掲載している特設ページへの誘導促進の工夫	「なら旅ネット」各ページに特設ページへのリンクを設置した。また、検索連動広告の実施、南都銀行地域情報発信Webサイト「ええ古都なら」からのリンクを設置した。	AIレコメンドマップを活用したプロモーション開始当初（2024年10月）に約200人／週であったユニークユーザー数が、1,000人以上／週に拡大した。
ネット以外にリアルでの誘客・売上促進の取組も実施	宿泊施設等でのパンフレット配布（24施設2,500枚）し、対面による特設ページへの誘引等（ガイド4名による勧誘）を実施した。	事業活動トータルの効果で、今後のNVBネット販売のなら観光DXPFでの一元化を見越すと800万円超となる売上を実現した。 ※また、実験が有効だったとの声があった事業者の事例を取りまとめた（今後の参画促進で活用）

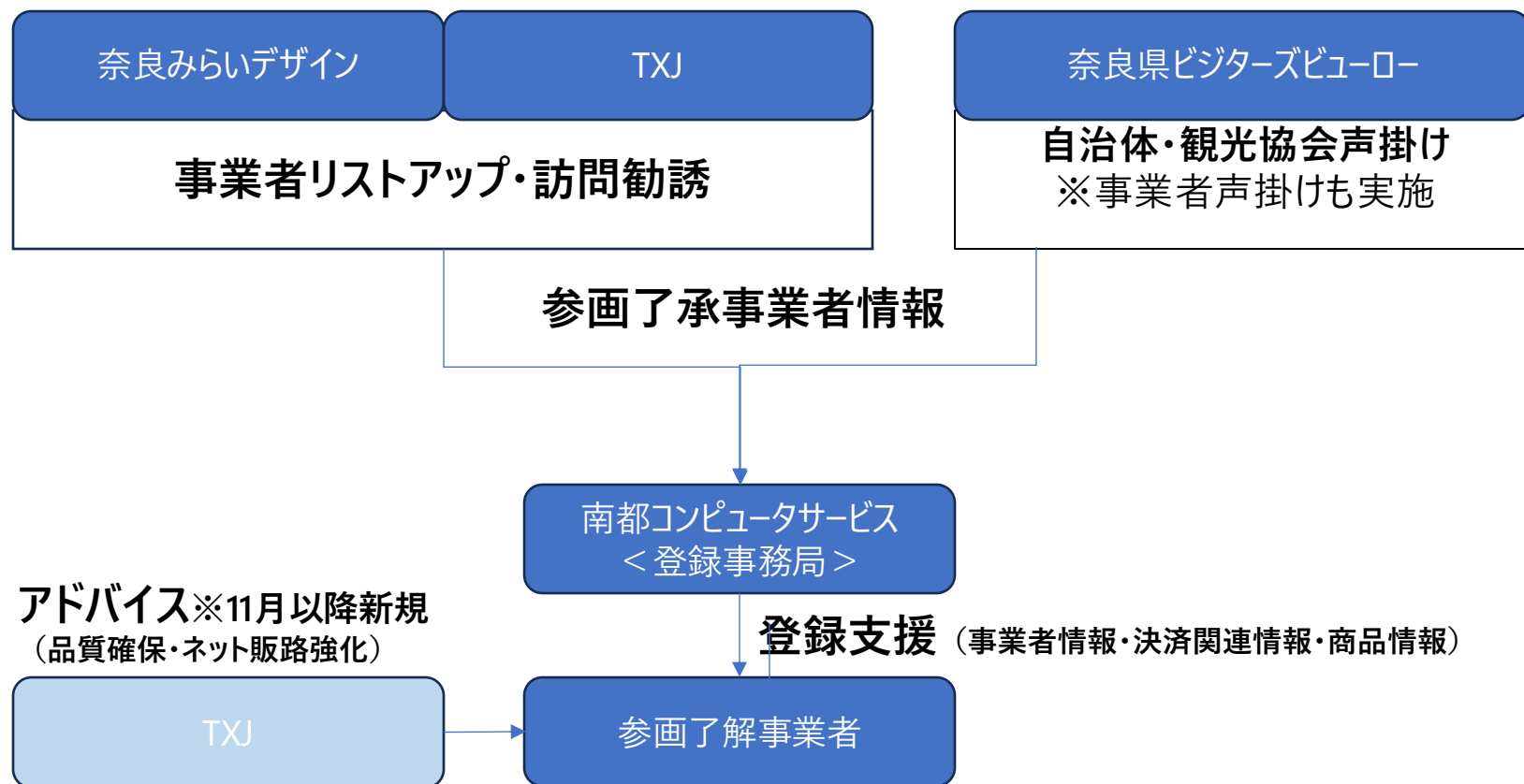
4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

■ なら観光DXPFへの中小事業者の参画促進体制

※奈良みらいデザイン、TXJが本実証に適したコンテンツをリストアップ・訪問勧誘。南都コンピュータサービスが登録事務所を設置、参画了承事業者の登録を訪問して支援。なお、11月より、TXJによる品質管理・ネット販路強化のアドバイスを実施。



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

■ なら観光DXPF参画を打診する事業者のリストアップ

※既存の体験コンテンツ販売サイトへの掲載事業者、日常的にコンタクトのあった事業者などから、本実証に適したコンテンツとして、体験コンテンツ提供事業者、飲食事業者を中心にリストアップ。

No	市長村	住所市町村以降	内容	事業者	ステータス		
					資料送付	交渉結果	登録代行
1	奈良市	餅飯殿町21番地 1F 南側 ito aware-いとあはれ-奈良店	指輪模様付け体験	ito aware-いとあはれ-奈良店			
2	天理市	石上町361-1	2枚のコインを選んでリングとペンダントを作る体験	SWINGBY			
3	奈良市	毘沙門町29番地	パワーストーンプレスレット作り	遊悠工房zoo&かぎろひ			
4	奈良市	春日野町160	世界遺産 春日大社 朱色に輝く大宮 若宮御本殿参拝	春日大社本社本殿			
5	奈良市	二条町3-9-1	季節の御膳	亀の井ホテル 奈良			
6	奈良市	十輪院町21	電動ろくろ体験コース	ならまち万葉陶芸教室			
7	奈良市	二条大路南1丁目3-1 ミナラ4階	NARA KINGYO MUSEUM 入場プラン	奈良金魚ミュージアム			
8	奈良市	法華寺町254-1	ディナービュッフェ	奈良ロイヤルホテル			
9	奈良市	二条大路南3丁目5番1号	古代アクセサリづくり 勾玉)	国営平城宮跡歴史公園			
10	斑鳩町	法隆寺東1-6-30	バギーに乗って世界文化遺産めぐり	奈良斑鳩ツーリズムW a i k a r u			

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

■ なら観光DXPF参画を打診する事業者のリストアップ_訪問・勧誘時のリーフレット

観光関連事業者の皆様

2024年9月〇〇日
(一財)奈良県ビジターズビューロー
専務理事 中西 康博

第一次募集 2024年9月〇日~10月〇日

なら観光 DXPF(プラットフォーム) 無料登録代行のご案内

県内事業者様の販路拡大・売上向上をご支援します

奈良県ビジターズビューローでは、県内の観光DX化を促進させ、観光客の周遊促進や観光地の生産性向上等をめざし、インターネットによる県内事業者様の商品・サービスの販売開始、販売拡大のためのシステム(なら観光 DXPF(現在の「奈良県在庫管理システム TXJ」のこと)を整備しています。

今回、観光庁事業を活用して、このシステムへの事業者登録を無料で代行しますので、是非ご連絡ください。

なら観光 DXPF(現在の「奈良県在庫管理システム」)インターネットでの売上が増えています！

奈良県在庫管理システム(TXJ)の売上推移
(各年1か月当たり:2022年=100)

年次	売上推移
2022年	100.0
2023年	205.6
2024年	321.0

ご案内の内容

- なら観光 DXPF 登録事務局にご連絡ください！**
 - 電話、FAX、メール、いずれでも可
 - ご購入も登録事務局で受け付けます
- 登録作業に伺います**
 - 日程調整の上、事務局から登録作業員が伺います
 - <登録作業>2~3 時間程度
 - なら観光 DXPF への登録、さらに GoogleMaps への登録を行います
- その後のフォローをします**
 - 新たな商品・サービスの追加や在庫確認、販売状況確認など、システムの使い方についてのお問い合わせに対応します
 - 2024 年秋に、登録いただいた内容のプロモーションを行います
 - 販売促進のほか、すでに登録済みの OTA 分とあわせた在庫管理、顧客管理・分析ができます！

※販売(予約)が成立した場合のみ、手数料 5%を頂きます

登録・問合せ先
なら観光 DXPF 登録局

電話：742-94-4012 (受付時間 平日 9:00~17:00)
FAX：742-50-2147
メール：rakankodx@nantocs.co.jp

担当：松山、小高

ネット販売を促進する プラットフォーム 『なら観光DXPF』に商品を登録します！

『なら観光DXPF』は

- 一般的なOTA(ネット販売事業者)と比較して、利用料が低い**
 - 登録料は無料。利用手数料はなら観光DXPFでの売上の場合、10.1% (一般的なOTAは、登録料有料、利用手数料は売上の16%)
- 商品の在庫管理が簡単に出来る**
 - ダブルブッキング防止。オンライン予約・販売分は在庫に自動反映
 - FAX等による予約・販売分も管理画面から入力することで一元管理
- サイトコントローラー不要**
- インバウンドの売上も上がる**
 - 翻訳機能・為替計算機能あり、海外OTAにもつながります

『なら観光DXPF』はどんどん進化します
(今年度はAIによる旅行者へのお薦めが出来るようになります)

つまり、掲載しているだけで、売上が向上していきます

注意:入金はストライプ経由で、予約確定後1週間前後です

登録・問い合わせ先
なら観光DXPF登録事務局

電話：0742-94-4012 (受付時間 平日 9:00~17:00)
FAX：0742-50-2147
メール：narakanodx@nantocs.co.jp

担当：松村、小高

『なら観光DXPF』は、観光庁の実証事業として、奈良県ビジターズビューロー、南都銀行、三菱総合研究所が進めています

プラットフォーム 『なら観光DXPF』に参加して 販路拡大 売上向上 を実現！

『なら観光DXPF』に参加すると

- 簡単に商品・サービスのオンライン販売ができます
- 手間なくオンラインで複数の販路をつくれます

『なら観光DXPF』に参加するメリット

	なら観光DXPF	現状
予約・販売の対応	オンラインで自動化	問合せなど電話対応に追われる
在庫・顧客情報の管理	複数Webサイトからの予約も自動で連動・名簿作成も自動化	HP・電話など申込方法に応じた管理が複雑・手間
販売方法(販路先)	GoogleMapsや奈良県公式HPなどオンライン販売可能	自社HPなど限られた販路
プロモーション(広告)	奈良県ビジターズビューローによる継続的な支援(公式HP等)	広告予算もなく自社では難しい

一般的な“オンライン販売サイト”と比較したメリット

- ☑ 初期費用・固定利用料無しで利用できます
- ☑ サイトコントローラーは不要、クレジットカード決済も低コストで利用できます
- ☑ 多言語の自動翻訳、自動で替表示の機能を搭載しインバウンド対応ができます
- ☑ 電話などオンライン以外の予約状況・顧客情報をもまとめて管理ができます

どんな事業者様も参加できます

宿泊施設だけでなく、幅広く観光関連事業者の方が参加できます

宿泊 飲食 土産 体験 ミュージアム イベント

登録・問い合わせ先
なら観光DXPF登録事務局

電話：0742-94-4012 (受付時間 平日 9:00~17:00)
FAX：0742-50-2147
メール：narakanodx@nantocs.co.jp

担当：松村、小高

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

■ なら観光DXPF参画を打診する事業者のリストアップ_訪問・勧誘時のリーフレット

なら観光DXPF登録事務局の概要
設置・運営時期：2024.7～2025.01
設置場所：南都コンピュータサービス内
体制：管理者、登録支援員4名
※事前にTXJ登録作業の講習を受けた者

NCS
NANTO COMPUTER SERVICE CO., LTD.

なら観光DXPF登録事務局



南都コンピュータサービス株式会社

〒630-8141 奈良市南京終町1丁目93-2 (南都銀行事務センター内)

☎ (0742) 94-4012 FAX (0742) 50-2147

E-mail:narakankodx@nantocs.co.jp

事業者登録支援の様子
～寧楽兄弟社 風の家工房～



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

■ まとめ

- 最終的に22の事業者のコンテンツが本実証事業に参画（一部コンテンツ（4件）はコンソーシアム主導で開発）。なお、勧誘の過程でなら観光DXPFがインバウンド対応の二重価格設定にも有効であることがわかった。

■ 目標

持続可能な「中小事業者参画支援体制の確立」

観測指標：打診用事業者リスト数（400件）

■ 結果

最終的に22件の事業者の登録を支援。なお、登録事務局を担った南都コンピューターサービスは、地域の中小事業者との新規ネットワーク構築ができ、本実証事業以降も関係を継続的かつ拡大していくことが可能となった。
観測指標：打診用事業者リスト数（宿泊事業者700件、体験コンテンツ事業者96件。このうち、体験コンテンツ事業者を中心に参画促進を実施した）

■ 結果の推移

KPI	数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	最終実績
参加事業者数	100事業者	10事業者	40事業者	60事業者	80事業者	90事業者	95事業者	100事業者	100事業者	100事業者
実績		0事業者	3事業者	6事業者	6事業者	12事業者	16事業者	19事業者	22事業者	22事業者
進捗率(%)		—	3%	6%	6%	12%	16%	19%	22%	22%

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進

■ 注力した点・工夫した点

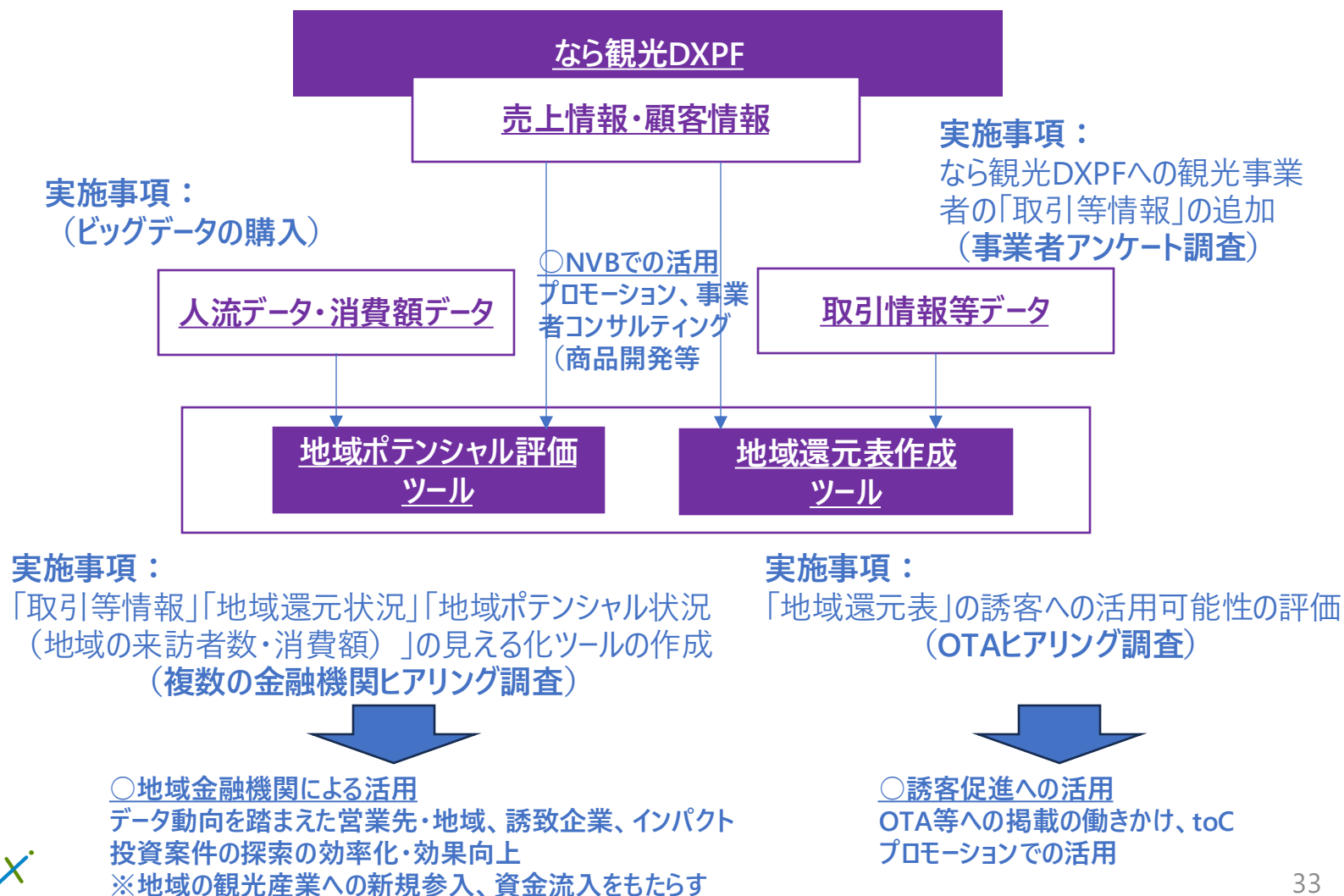
項目	主な活動	結果
なら観光DXPFへの参画事業者の相対での勧誘	地域団体（自治体、観光協会、旅館組合、商工会等）を通じた勧誘が出来なかったため、事業者勧誘の専門家を加えて、個別に事業者を訪問した。	最終的に22件の事業者・コンテンツが本実証事業に参画（一部コンテンツ（4件）はコンソーシアム主導で開発）。なお、勧誘の過程でなら観光DXPFがインバウンド対応の二重価格設定にも有効であることがわかった。
なら観光DXPFの掲載コンテンツの品質確保	地域のIT事業者の支援によって、なら観光DXPFへ登録における事業者のITスキル不足には対応出来た。一方で、IT事業者では対応できない、品質管理（商品、手じまい設定、写真、説明文等のレベルを“売れるもの”とすること）が課題となり、専門家による品質管理体制を構築・運営した。	事業者の掲載コンテンツの品質についての認識が高まった（品質管理は依然として必要なレベルであり、継続的な確認・アドバイスはこれからも必要）。
既存OTAを主要販路とする宿泊事業者の参画	なら観光DXPFの売上向上のため、サイトコントローラーと接続可能となるよう改修し、宿泊事業者への勧誘を実施した。	実証実験期間中には、宿泊事業者の参画が間にあわなかった（このため、想定していた売上45万円／月×2か月分が実現できなかった）。

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 投融資評価スキーム開発の全体像



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 取引状況（地域還元状況）把握アンケート調査の実施

取引状況アンケート調査実施概要

実施時期：2024.10~11

調査対象：NVB加盟の宿泊事業者（10事業者（回収率100%）

調査手法：対面依頼・回収）

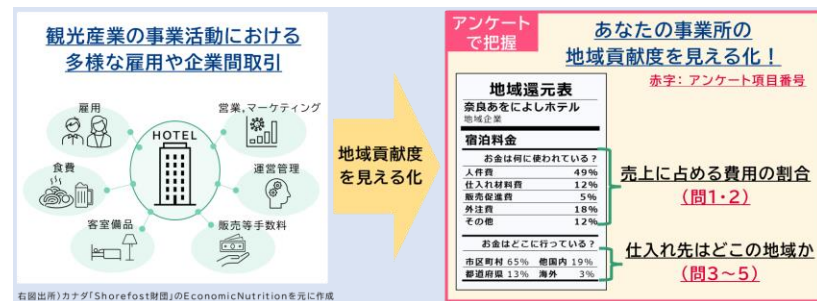
<本アンケートの目的>

- 奈良県ビジターズビューローは、アンケートにより取引状況を把握し、地域経済に貢献する事業者として国内外に広くプロモーションを実施、また県公式Webサイトでの販売により売上を向上します
- 南都銀行は、地域貢献度の高い事業者を対象とした投融資の実行等が可能か検証します

<その他お知らせ等>

- 本アンケートは、奈良県ビジターズビューローも県内事業者の全ては把握出来ていないため、公表されている旅館営業許可施設一覧を元に把握した事業者宛てに送付しております
- 併せて、現在整備しているオンラインでの販路拡大・売上向上を実現する「なら観光DXPF（プラットフォーム）」のご案内も添付しております

※今年度は登録サポート無料。ご参加を検討ください



奈良県観光産業の地域還元実態調査 調査票 骨子

A. 売上・費用について

問1. 2023年の売上(収入)について記入してください。

売上総額 万円

問2. 2023年の費用について記入してください。

項目	費用額(または割合)
費用総額	万円
① 人件費	総額の %程度
② 仕入材料費(財)	総額の %程度
③ 販売促進費(サービス)	総額の %程度
④ 外注費(サービス)	総額の %程度
⑤ その他	総額の %程度

※(費用総額)=①+②+③+④+⑤です

B. 人件費について

問3. 従業員(正規・非正規)の居住地について記入してください。

従業員(正規・非正規)の居住地	奈良県内	大阪府	その他
市町村別	%	%	%

C. 財(商品)の仕入れ状況について

問4. 取り扱っている財(商品)や材料について記入してください。

D. サービスの仕入れ状況について

問5. 取り扱っているサービスについて記入してください。

E. その他

問6. 地域内の調査を進めるうえでの課題はありますか

問7. 次のような会計システムを使っていますか

問8. 奈良県ビジターズビューロー及び地域金融機関に対して期待することについて記入してください。

従業員(正規・非正規)の居住地	奈良県内	大阪府	その他
市町村別	%	%	%

C. 財(商品)のうち、特産品の案

- ① 大和肉類
- ② 大和牛
- ③ 大和ボーク
- ④ 大和野菜
- ⑤ 地酒
- ⑥ 奈良県産家具類(吉野の家具等)
- ⑦ 奈良県産食器類(赤膚焼等)
- ⑧ その他()
- ⑨ その他()
- ⑩ その他()
- ⑪ その他()

D. サービスの項目案

- ① 情報サービス(予約・顧客管理・経営管理システム等)
- ② 建物サービス(施設管理サービスなど)
- ③ 清掃・洗濯サービス(清掃・リネンサービス、クリーニング等)
- ④ 人材派遣サービス(ドアマンベールスタッフ、仲居、警備、調理、衣装・着付け等)
- ⑤ 宣伝広告・プロモーション
- ⑥ 販売手数料(楽天、じゃらん、奈良旅ネット等)
- ⑦ その他()
- ⑧ その他()

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 取引状況（地域還元状況）把握アンケート調査票

県内宿泊業の取引状況アンケート調査（1／4）		株式会社南都銀行																			
事業者名など		ご記入いただいた内容は秘密が保護されます。（税務資料等に使われるようなことはありません。ありのままを記入してください。）																			
事業所名称	プレプリント	所在地	プレプリント																		
記入部署		電話番号	() -																		
A. 売上・費用について																					
問1. 2023年1月から12月までの1年間の売上(収入)を <u>下線部</u> に記入してください。																					
売上総額	_____万円																				
問2. 2023年1月から12月までの1年間の費用を <u>下線部</u> に記入してください																					
項 目	費用額(または割合)																				
費用総額	_____万円 あるいは 売上総額の _____ %																				
① 人件費	費用総額の _____ %程度																				
② 仕入材料費(財)	費用総額の _____ %程度																				
③ 販売促進費(サービス)	費用総額の _____ %程度																				
④ 外注費(サービス)	費用総額の _____ %程度																				
⑤ その他	費用総額の _____ %程度																				
※(費用総額)=①+②+③+④+⑤です																					
地域還元表 奈良あをによしホテル 地域企業 宿泊料金 お金は何に使われている？ <table><tr><td>人件費</td><td>49%</td></tr><tr><td>仕入れ材料費</td><td>12%</td></tr><tr><td>販売促進費</td><td>5%</td></tr><tr><td>外注費</td><td>18%</td></tr><tr><td>その他</td><td>12%</td></tr></table> お金はどこに行っている？ <table><tr><td>市区町村</td><td>65%</td><td>他国内</td><td>19%</td></tr><tr><td>都道府県</td><td>13%</td><td>海外</td><td>3%</td></tr></table>				人件費	49%	仕入れ材料費	12%	販売促進費	5%	外注費	18%	その他	12%	市区町村	65%	他国内	19%	都道府県	13%	海外	3%
人件費	49%																				
仕入れ材料費	12%																				
販売促進費	5%																				
外注費	18%																				
その他	12%																				
市区町村	65%	他国内	19%																		
都道府県	13%	海外	3%																		
B. 人件費について																					
問3. 従業員(正規・非正規)の居住地(=人件費の支払先)を記入してください。(下線部にご記入願います)																					
支払先の地域別割合(%)※合計100%																					
市町村内	奈良県内	大阪府	その他																		
_____ %	_____ %	_____ %	_____ %																		

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 取引状況（地域還元状況）把握アンケート調査票

県内宿泊業の取引状況アンケート調査（2／4）

C. 財(商品)の仕入れ状況について

問4-1. これらの仕入れ額と支払先の構成を **下線部** に記入してください。

項目	仕入材料費総額に占める割合	支払先の地域別割合(%) ※合計100%			
		市町村内	奈良県内	大阪府	その他
① 野菜などの農畜産品	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %
② 酒などの飲料や加工食品	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %
③ 什器・調度品	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %
④ 紙製品	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %
⑤ その他	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %

問4-2. 奈良県の特産品は取扱っていますか。該当する **下線部** に記入してください。（金額は分かる範囲でお願いします。）

奈良県の特産品	取扱金額	品目全体に占める割合
① 大和肉鶏	_____ 万円	鶏肉全体の _____ %程度
② 大和牛	_____ 万円	牛肉全体の _____ %程度
③ 大和ポーク	_____ 万円	豚肉全体の _____ %程度
④ 大和野菜	_____ 万円	野菜全体の _____ %程度
⑤ 地酒	_____ 万円	酒類全体の _____ %程度
⑥ 奈良県産家具類(吉野の家具 等)	_____ 万円	家具全体の _____ %程度
⑦ 奈良県産食器類(赤膚焼 等)	_____ 万円	食器類全体の _____ %程度
⑧ その他(_____)	_____ 万円	_____ 全体の _____ %程度
⑨ その他(_____)	_____ 万円	_____ 全体の _____ %程度
⑩ その他(_____)	_____ 万円	_____ 全体の _____ %程度
⑪ その他(_____)	_____ 万円	_____ 全体の _____ %程度

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 取引状況（地域還元状況）把握アンケート調査票

県内宿泊業の取引状況アンケート調査（3／4）

D. サービスの仕入れ状況について

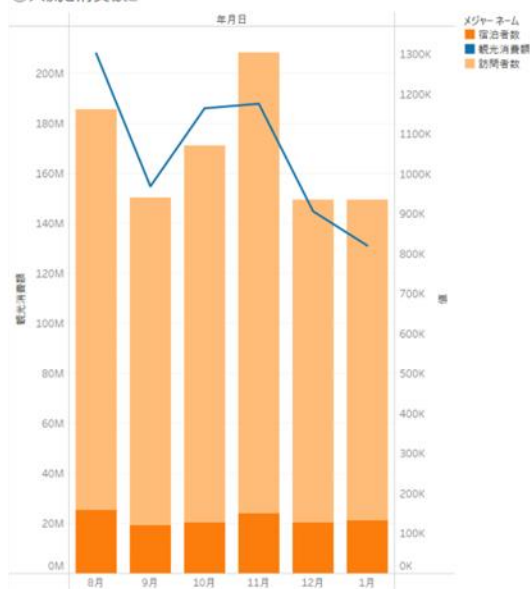
問5-1. これらの仕入れ額と支払先の構成を **下線部** に記入してください。（金額は分かる範囲でお願いします。）

項 目	費用総額に占める割合	支払先の地域別割合(%) ※合計100%			
		市町村内	奈良県内	大阪府	その他
販売促進費	① 宣伝広告・プロモーション	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %
	② 旅行代理店・オンライン旅行代理店 (JTB、楽天、じゃらん、奈良旅ネット等)	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %
	③ 情報サービス (予約・顧客管理・経営管理システム等)	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %
外注費	④ 建物サービス (施設管理サービスなど)	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %
	⑤ 清掃・洗濯サービス (清掃、リネンサービス、クリーニング等)	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %
	⑥ 人材派遣サービス (ドアマンパルススタッフ、仲居、警備、調理、 衣装・着付け等)	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %
	⑦ その他 (_____)	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %
	⑧ その他 (_____)	総額の _____ %程度	_____ %	_____ %	_____ %

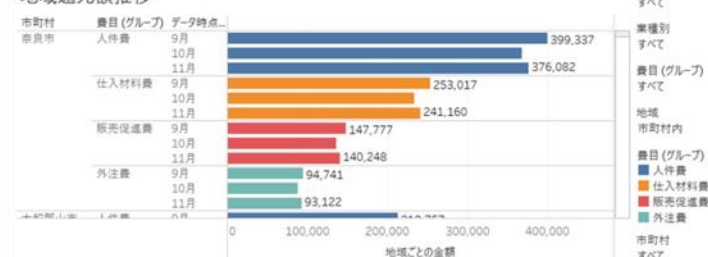
3.各取組の詳細

■ 取得データの投融資評価スキームでの活用可能性の評価

地域還元率評価：ランキング[地域別・事業者別]



年月日の観光消費額、観光消費額、宿泊者数および訪問者数の傾向です。色は観光消費額、宿泊者数および訪問者数に関する詳細を示します。データは市町村名でフィルターされます。これは、奈良市を保持します。

[illegible]

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 投融資評価スキームで検討した指標の概要

指標	概要	指標活用の方法	指標活用目的
地域のポテンシャル【指標A・C】	エリアごとの一人当たり観光消費額や滞在人口から算定。公的統計を用いた算定（1年単位など）が指標A、オルタナティブデータを用いた算定（1か月単位など）が指標C。	経済成長の伸びしろが見込める地域を特定できる	・ 営業段階での優先エリア選定による活動効率化 ・ 地域内マーケット情報提供による出資先観光支援事業者の事業計画精緻化
企業のポテンシャル【指標B】	エリア×セクター（観光／土産物など）にメッシュを分けたうえで、各社の実績をエリア×セクター平均と比較	ポテンシャルがある地域、無い地域それぞれで売上を伸ばしている／減らしている事業者を特定できる	・ 出資先観光支援事業者の優先支援先選定による活動効率化・売上向上 ・ 上記に係る南都銀行様による同行取引先事業者への営業代行を通じた売上向上
地域還元率【指標D】（売上・仕入・主要地域産品）	売上（B to Bの企業がどの地域向けに売っているか）・仕入（宿泊業などがどの地域から仕入れているか、主要地域産品（仕入の内訳として、どれだけ主要地域産品を仕入れているか）等について、市町村内、県内、その他からの調達比率／販売比率を算出	域内調達を積極的に行っている事業者を特定できる	・ 効果測定指標への活用によるインパクト投資推進 ・ 出資先観光支援事業者の観光業者への地産地消ブランド関連マーケティング支援

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ インパクト投資（南都キャピタルパートナーズ）での取得データの活用可能性

※銀行営業（南都銀行）、一般投資（奈良古民家まちづくりファンド）についても同様に活用可能性を評価。これらデータ活用について、それぞれのワークフローに対応した活用イメージをとりまとめた（別添「なら観光DXPFの投融資評価での活用イメージ」）。

※アンケートへの協力可能性についての現地判断によって、対面で回答を依頼できた宿泊10事業者の回収にとどまった。

指標活用の方法		南都キャピタルパートナーズ様での活用例
地域レベル 指標A・C エリア内消費額	経済成長の伸びしろが見込める地域を特定できる	・ 営業段階での優先エリア選定による活動効率化 ・ 地域内マーケット情報提供による出資先観光支援事業者の事業計画精緻化
事業者レベル 指標B TXJ事業者売上	ポテンシャルがある地域、無い地域それぞれで売上を伸ばしている事業者を特定できる	・ 出資先観光支援事業者の優先支援先選定による活動効率化・売上向上 ・ 上記に係る南都銀行様による同行取引先事業者への営業代行を通じた売上向上
事業者レベル 指標D 売上・仕入れ・主要地域 産品の地域還元率	域内調達を積極的に行っている事業者を特定できる	・ 効果測定指標への活用によるインパクト投資推進 ・ 出資先観光支援事業者の観光業者への地産地消ブランド関連マーケティング支援 ※南都銀行様でのPIFへの活用も考えられる

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 奈良観光DXPFによる取得データ

※取得データは、地域の観光ポテンシャルと取引状況（地域還元状況）に区分し、それぞれ見える化ツールを開発

地域ポテンシャル評価ツール

- 以下4データを作成
 - ①事業者情報
 - ②奈良DXPF売上情報
 - ③人流情報
 - ④観光消費額

No.	事業所名	業種	所在地	売上額（年間／百万円）	登録月
1	宿				9
2	宿				10
3	宿				9

①事業者情報

No.	事業名	業種	所在地	事業所全体 売上 （年間／百万円）	うち、TXI売上 （年間／百万円）	うち、TXI売上 （月間／百万円）	集計対象月	登録月
1	宿泊1	宿泊	奈良市	1086.1	43.4	3.6	2024/9	9
2	宿泊3	宿泊					2024/9	9
3	宿泊5	宿泊					2024/9	9
4	宿泊6	宿泊					2024/9	9
5	宿泊9	宿泊	大和郡市	1086.1	43.4	3.6	2024/9	9
6	宿泊13	宿泊	橿原市	312.2	6.3	6.3	2024/9	9
7	宿泊14	宿泊	橿原市				2024/9	9
8	宿泊19	宿泊	生駒市	10,112.404	8,842.832	8,221.464	8,612.410	9,274.148
9	宿泊20	宿泊	香芝市					3,112.423
10	宿泊23	宿泊	宇陀市					331.640
11	体験2	体験	奈良市					751.865
12	体験4	体験	大和郡市					70.559
13	体験7	体験	板井市	182.221	139.491	126.680	123.422	135.207
14	体験10	体験	生駒市	228.920				159.068
15	体験14	体験	平群町					
16	体験18	体験	橿原市	363.187				
17	体験22	体験	河合町	87.689				
18	飲食4	飲食	大和郡市	89.522				
19	飲食5	飲食	天理市	37.871				
20	飲食6	飲食	橿原市	135.999				

②奈良DXPF売上情報

市町村名	2024_8	2024_9	2024_10	2024_11	2024_12	2025_1
大阪府	22,435,383,847	17,604,622,498	20,388,386,752	18,866,581,782	20,240,200,172	20,646,044,498
京都府	11,648,107,819	10,440,419,012	13,742,353,973	14,866,012,991	10,824,027,084	9,531,907,032
奈良市						3,098,877
大和郡市						211,541
板井市						662,003
生駒市						697,857
平群町						667,870
橿原市	1,048,905	589,642	667,870	575,626	753,595	887,886
香芝市	266,301	279,664	272,494	546,291	321,712	264,345
葛城市	112,127	77,250	99,415	112,778	159,063	49,870
御所市	78,238	39,114	82,791	102,348	132,009	75,620
宇陀市	1,191,018	844,208	936,452	690,034	1,073,677	951,446
山添村	385,598	215,126	269,886	282,902	429,927	265,975
平群町	109,845	63,560	160,367	120,927	86,702	213,171
三郷町	163,627	102,022	222,297	291,073	122,231	104,630
斑鳩町	36,746					14,666
安堵町	16,915					56,385
川西町	91,592	75,294	0	54,434	71,709	67,146

③人流情報

④観光消費額

「地域還元表」作成ツール

- 地域還元実態調査結果をデータ化
 - ①地域還元実態調査アンケート結果

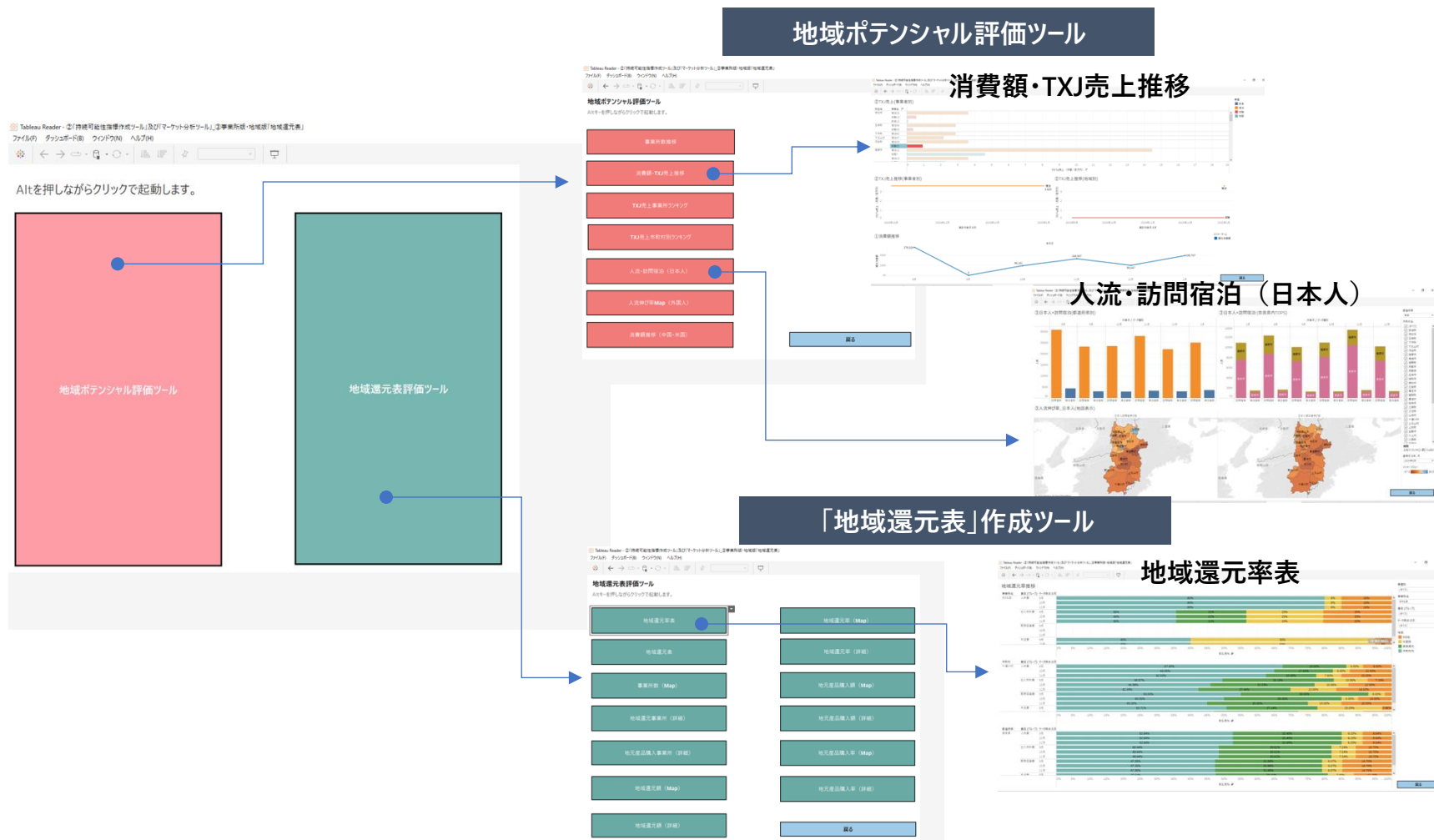
事業所情報						地域還元情報（年額）							
事業所ID	事業所名	業種別	市町村	所在地	データ時点	参考・宿泊施設タイプ	売上(千円) (入力項目)	費用合計(千円) (入力項目)	費用(千円) 人件費				
										支払先（％）			
										市町村内	奈良県内	大阪府	その他
1	宿泊1	宿泊	奈良市		2024/9	旅館・標準	1,086,051	999,167	339,717	55	38	5	2
2	宿泊2	宿泊	奈良市		2024/9	シティホテル・標準	1,086,051	977,446	293,234	50	35	5	10
3	宿泊3	宿泊	奈良市		2024/9	ビジネスホテル・標準	217,210	152,047	45,614	45	30	10	15
4	宿泊4	宿泊	奈良市							38	5	2	
5	宿泊5	宿泊	奈良市							35	5	10	
6	宿泊6	宿泊	大和高田市							30	10	15	
7	宿泊7	宿泊	大和郡山市		2024/9	旅館・低収益	1,086,051	977,446	332,332	55	38	5	2
8	宿泊8	宿泊	大和郡山市		2024/9	シティホテル・低収益	217,210	199,833	59,950	50	35	5	10
9	宿泊9	宿泊	天理市		2024/9	ビジネスホテル・低収益	1,086,051	781,957	234,587	45	30	10	15
10	宿泊10	宿泊	天理市		2024/9	旅館・標準	217,210	199,833	67,943	55	38	5	2
11	宿泊11	宿泊	天理市		2024/9	シティホテル・標準	54,303	48,872	14,662	50	35	5	10
12	宿泊12	宿泊	橿原市		2024/9	ビジネスホテル・標準	1,086,051	760,236	228,071	45	30	10	15
13	宿泊13	宿泊	橿原市		2024/9	旅館・高収益	217,210	204,178	68,420	55	38	5	2
14	宿泊14	宿泊	橿原市		2024/9	シティホテル・高収益	54,303	47,786	14,336	50	35	5	10
15	宿泊15	宿泊	板井市		2024/9	ビジネスホテル・高収益	217,210	147,703	44,311	45	30	10	15
16	宿泊16	宿泊	五條市		2024/9	旅館・低収益	217,210	195,489	66,466	55	38	5	2
17	宿泊17	宿泊	御所市		2024/9	シティホテル・低収益	54,303	49,958	14,988	50	35	5	10
18	宿泊18	宿泊	生駒市		2024/9	ビジネスホテル・低収益	1,086,051	781,957	234,587	45	30	10	15
19	宿泊19	宿泊	生駒市		2024/9	旅館・標準	217,210	199,833	67,943	55	38	5	2
20	宿泊20	宿泊	香芝市		2024/9	ビジネスホテル・標準	217,210	152,047	45,614	50	35	5	10
21	宿泊21	宿泊	香芝市		2024/9	旅館・高収益	54,303	51,044	17,355	45	30	10	15
22	宿泊22	宿泊	葛城市		2024/9	ビジネスホテル・高収益	217,210	147,703	44,311	55	38	5	2
23	宿泊23	宿泊	宇陀市		2024/9	旅館・低収益	217,210	195,489	66,466	50	35	5	10
24	宿泊24	宿泊	山添村		2024/9	ビジネスホテル・低収益	54,303	39,098	11,729	45	30	10	15
25	宿泊25	宿泊	平群町		2024/9	旅館・標準	217,210	199,833	67,943	55	38	5	2

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 投融資スキームで活用する「地域ポテンシャル評価ツール」「『地域還元表』作成ツール」の開発



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

- OTA等での掲載、toCプロモーションでのアピールを通じて誘客促進への活用を図る「地域還元表」（1/3）

地域還元表			
宿泊施設①			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	53.9 %		
仕入れ材料費	14.9 %		
販売促進費	6.2 %		
外注費	3.4 %		
その他	21.4 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	58.2 %	奈良県内	10.9 %
大阪府	11.5 %	その他	19.4 %

地域還元表			
宿泊施設②			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	55.4 %		
仕入れ材料費	28.0 %		
販売促進費	2.2 %		
外注費	2.2 %		
その他	12.2 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	80.3 %	奈良県内	9.1 %
大阪府	7.3 %	その他	3.3 %

地域還元表			
宿泊施設③			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	25.4 %		
仕入れ材料費	5.8 %		
販売促進費	4.6 %		
外注費	25.4 %		
その他	39.0 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	29.4 %	奈良県内	23.7 %
大阪府	7.8 %	その他	39.1 %

地域還元表			
宿泊施設④			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	22.5 %		
仕入れ材料費	24.0 %		
販売促進費	0.8 %		
外注費	4.1 %		
その他	48.6 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	49.6 %	奈良県内	23.2 %
大阪府	8.4 %	その他	18.8 %

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

- OTA等での掲載、toCプロモーションでのアピールを通じて誘客促進への活用を図る「地域還元表」（2/3）

地域還元表			
宿泊施設⑤			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	26.2 %		
仕入れ材料費	15.2 %		
販売促進費	13.2 %		
外注費	10.2 %		
その他	35.2 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	43.2 %	奈良県内	23.0 %
大阪府	6.5 %	その他	27.2 %

地域還元表			
宿泊施設⑥			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	43.4 %		
仕入れ材料費	15.8 %		
販売促進費	9.1 %		
外注費	2.1 %		
その他	29.6 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	46.1 %	奈良県内	26.5 %
大阪府	11.5 %	その他	15.9 %

地域還元表			
宿泊施設⑦			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	36.5 %		
仕入れ材料費	14.8 %		
販売促進費	9.9 %		
外注費	5.9 %		
その他	32.7 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	33.9 %	奈良県内	28.1 %
大阪府	16.5 %	その他	21.5 %

地域還元表			
宿泊施設⑧			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	15.0 %		
仕入れ材料費	10.0 %		
販売促進費	10.0 %		
外注費	5.0 %		
その他	60.0 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	47.3 %	奈良県内	18.7 %
大阪府	9.3 %	その他	24.8 %

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

- OTA等での掲載、toCプロモーションでのアピールを通じて誘客促進への活用を図る「地域還元表」(3/3)

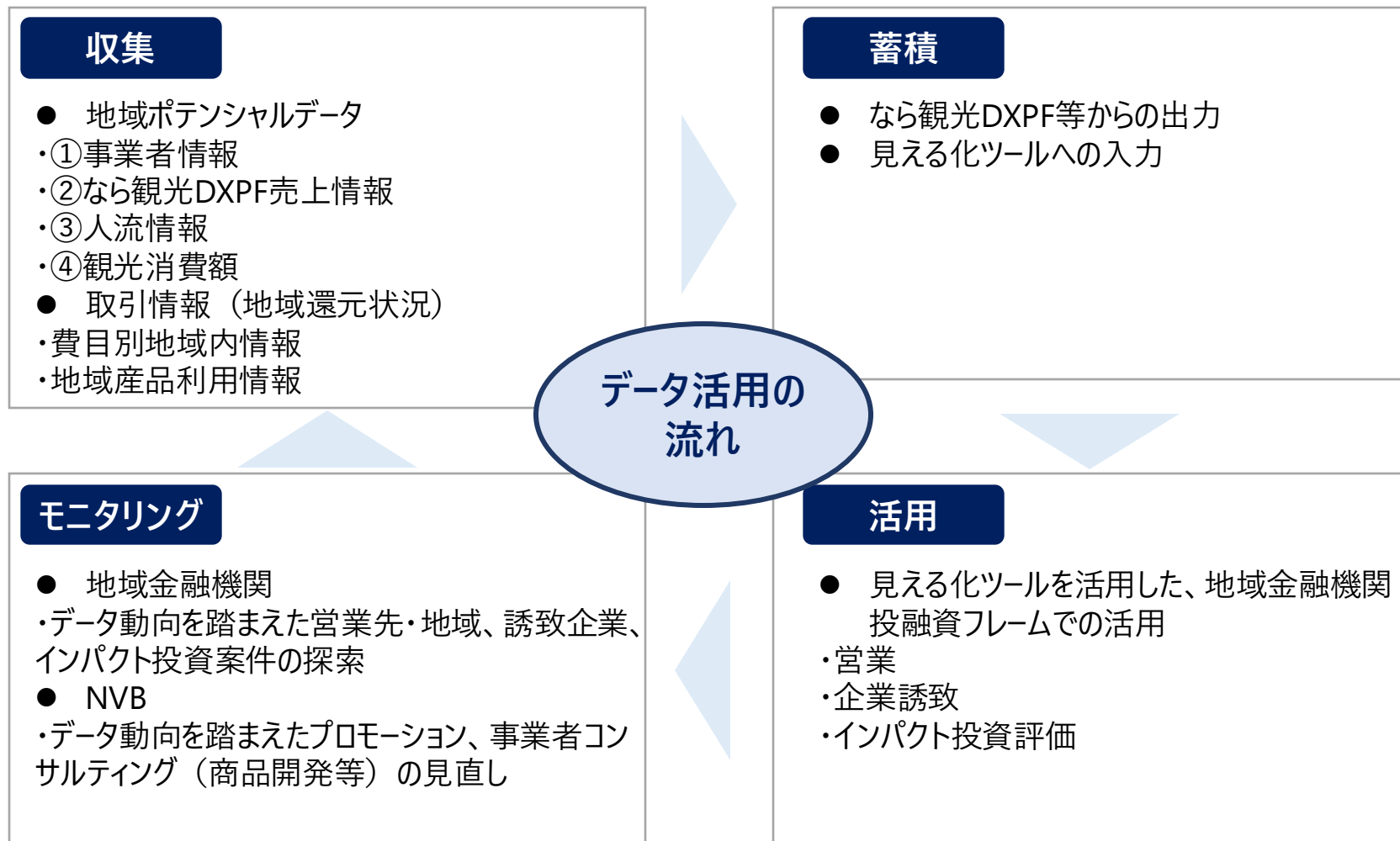
地域還元表			
宿泊施設⑨			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	32.0 %		
仕入れ材料費	38.0 %		
販売促進費	2.0 %		
外注費	10.0 %		
その他	18.0 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	18.2 %	奈良県内	34.2 %
大阪府	10.3 %	その他	37.3 %

地域還元表			
宿泊施設⑩			
宿泊料金			
お金は何に使われている？			
人件費	50.5 %		
仕入れ材料費	15.8 %		
販売促進費	5.8 %		
外注費	10.6 %		
その他	17.3 %		
お金はどこに行っている？			
市町村	35.8 %	奈良県内	16.9 %
大阪府	21.1 %	その他	26.1 %

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発
データ活用の流れを示します。



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ まとめ

- 地域還元割合が高い宿泊事業者のうち、主要事業者(10事業者)について記入精度の高い「取引情報等」アンケート回答結果を入手。各事業者の「地域還元表」を作成した。
- 当初、「取引情報等」アンケートは複数業種で、かつ4地域程度で地域×業種別の集計できる回収数を目指したが、アンケートへの協力可能性についての現地判断によって、上記の宿泊10事業者の回答に限られた。
- 地域金融機関（営業・企業誘致、インパクト投資等）それぞれのワークフローに対応した活用シーンを整理。また、活用において利用できる見える化ツールを開発した

■ 目標

「意欲ある観光産業事業者を支援する体制の構築」（＝地域金融機関を含む産業共同体）

観測指標：人流・売上を把握する地域数（4地域）

■ 結果

なら観光DXPFで取得するデータを活用することで、営業・企業誘致・インパクト投資評価を効率的に実施できるとの見解。主要海外OTAによれば、「地域還元表」の掲載は可能であり、レスポンスブルーツリズム志向に合致するもので、誘客にも効果的との見解。

観測指標：人流・売上を把握する地域数（人流、売上のビッグデータは県内市町村別、ベンチマークとして大阪市、京都市について整備。ただし、売上、地域還元率等については、参加事業者及び取引等情報アンケート調査への回答が限られたため、地域別に有効となるデータ数を収集できなかった）

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発

■ 注力した点・工夫した点

項目	主な活動	結果
事業者の「取引等情報」収集での工夫	コンソーシアムメンバーの日常業務を通じたネットワークで幅広く収集する想定であったが、地域事情等で実現できなかった。このため、NVB会員の宿泊事業者（10事業者）に対し、対面で趣旨説明を丁寧に実施し、回答を得た。	地域還元割合が高い宿泊事業者のうち、主要事業者について記入精度の高いについて情報を入手できた。各事業者の「地域還元表」を作成した。 ※アンケート調査票やスキームは「DMO-KPI計測手順（仮称）」への掲載検討中 ※主要海外OTAによれば、「地域還元表」の掲載は可能であり、レスポンシブルツーリズム志向に合致するもので、誘客にも効果的との見解。
投融資評価スキームの開発・評価の工夫	当初想定していたコンソーシアムメンバー（銀行）のみでなく、インパクトファンド、古民家再生ファンドといった金融関連主体にヒアリング調査を実施。	銀行（・営業）、各種ファンドそれぞれの業務の異なる場面で、なら観光DXPFで取得するデータが活用可能であり、業務の効率化・効果向上に資することが確認できた。 ※別添「なら観光DXPFの投融資評価での活用イメージ」として整理

5.総括

1.実証事業の成果

実証事業の総括と成果を示します。

■ 実証事業の総括

- KGI（観光売上）は、取組・戦略の見直し・追加もあり見直し目標の65%を達成した。また、地域の産業共同体の一員となることを目指す地域金融機関Gのメリット（投融資評価へのデータの活用、事業者とのNW構築）が確認できた。

KGI	目標値	観光売上高の向上：1,265万円（当初目標の66%）		
	成果	観光売上高の向上：822万円（見直し目標の65%）		
取組内容		目標	結果	頁
取組1 既存システムの機能拡張による「なら観光DXPF」の構築		「インバウンド対応プロモーションの実装」（＝実装・検証） 「インバウンド対応の成功体験の創出」	今後のNVBネット販売のなら観光DXPFでの一元化を見越すと800万円超となる売上を実現した。うち、実証実験が有効だったとの声があった事業者を成功事例として取りまとめた。	P.18
取組2 「なら観光DXPF」への中小事業者の参画促進		持続可能な「中小事業者参画支援体制の確立」	登録事務局を担った南都コンピューターサービスは、地域の中小事業者との新規ネットワーク構築ができ、本実証事業以降も関係を継続的かつ拡大していくことが可能となった。	P.29
取組3 「なら観光DXPF」取得データ等を活用した投融資評価スキームの開発		「意欲ある観光産業事業者を支援する体制の構築」（＝地域金融機関を含む産業共同体）	地域金融機関の営業・企業誘致・インパクト投資評価を効率的に実施できるとの見解。また、主要によれば、レスポンスツールリズム志向に合致するもので、誘客にも効果的との見解。	P.35

5.総括

1.実証事業の成果

KGI・KPIの進捗を各月ごとにお示します。

	目標項目	数値	各月の目標値/実績								最終 実績
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
	売上 (当初目標)	1,920万円	－	30 万円	105 万円	635 万円	1,216 万円	1,790 万円	1920 万円	－	1920 万円
KGI	売上 (見直し目標)	1,265万円 (当初目標 の66%)	－	5 万円	10 万円	15 万円	195 万円	545 万円	895 万円	1,265 万円	1,265 万円
	実績		－	1 万円	2 万円	2 万円	32 万円	258 万円	641 万円	822 万円	822 万円
	進捗率(%)	(対見直し 目標)	－	0.1 %	0.2 %	0.2 %	2.5 %	20.4 %	50.7 %	65.0 %	65.0 %
KPI	参加 事業者数	100 事業者	10 事業者	40 事業者	60 事業者	80 事業者	90 事業者	95 事業者	100 事業者	100 事業者	100 事業者
	実績		0 事業者	3 事業者	6 事業者	6 事業者	12 事業者	16 事業者	19 事業者	22 事業者	22 事業者
	進捗率(%)	100%	－	3%	6%	6%	12%	16%	19%	22%	22%

5.総括

1.実証事業の成果

実証事業によって地域に与えた影響を複数の観点ごとにお示します。

I「なら観光DXPF」の構築及び中小企業の参画促進

■奈良市周辺地域への周遊促進の実現

I 旅行者の利便性向上・周遊促進

- AIRレコメンドによる周遊誘引、また、周遊バスチケット等の紹介によって、奈良市以外の観光スポットへの関心増（AIRレコメンドマップでの閲覧約20,000件）、奈良市以外での予約販売増加（約30万円）を実現できた。

■ネット販売増の成功事例の実現

II 観光産業の生産性向上

- 新規売上を獲得した事業者があり、また、こうした事業者の取組内容、実績を整理することで、他事業者の参考及び今後のなら観光DXPFへの“他の地域事業者に向けて横展開可能な好事例を作成することができた。
- ネット販売を成功させるためのコンテンツの品質管理のポイント（商品、手じまい設定、写真、説明文等のレベルを“売れるもの”とする等）が整理できた。

■地域ITサービス企業と観光事業者とのネットワーク構築によるIT人材育成

IV 観光デジタル人材の育成・活用

- 地域ITサービス企業が観光事業者と関わることにより、地域の観光産業に貢献するIT人材の確保ができた。また、ITサービス事業者との交流により、観光事業者のITスキルの向上がみられた。

IV 投融资評価スキームの開発

■地域金融機関の観光地域経営への参画

III 観光地域経営の高度化

- なら観光DXPFによるデータが投融资フレームに活用できることが明らかとなったことで、地域金融機関が観光地域づくりへの関心を高め、また、プレーヤーとして関わるのが可能となった。
- 地域金融機関の営業・企業誘致・インパクト投資評価を効率的に実施可能となる。また、こうした機関の事業者経営への関与強化による生産性の向上も期待できる。

5.総括

2.今後の展望

- 本実証実験終了後も、奈良県ビクターズビューローとTXJを中心とした体制で奈良県全体での事業者参画の促進を図っていく（南都銀行Gが適宜支援）
- その後、紀伊半島3県連携の枠組みにおけるDXPFとして展開していく

ロードマップ

2024年度

2025年度

2026年度～

STEP1

なら観光DXPFの
開発・評価

STEP2

奈良県全体への展開
開始

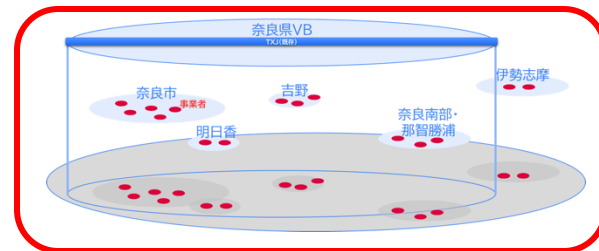
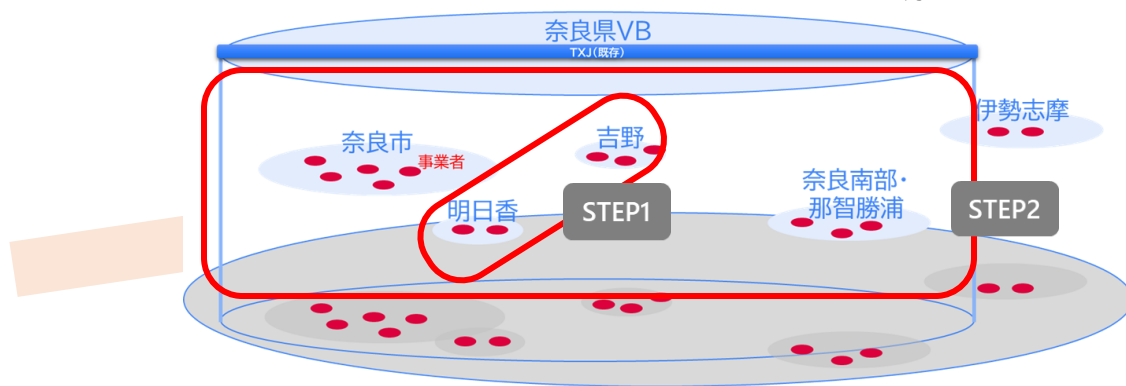
観光庁モデル観光地事業
とも連携

STEP3

観光事業者・DMO・地域金融
機関を核とした持続可能な
地域の実現

奈良県内展開：全域で展開、観光経済循環の可視化・拡大に取り組み、地域版持続可能性指標を持つ地域を3年後に倍増する（6地域程度。また、「なら観光DXPF」参加事業者は300事業者程度とする）。

広域展開：奈良県・和歌山県・三重県の三県連携において、本事業のコンソーシアムが積極的に参画し、三県版の観光事業者・DMO・金融機関が一体となった産業共同体を3年後に設立する。

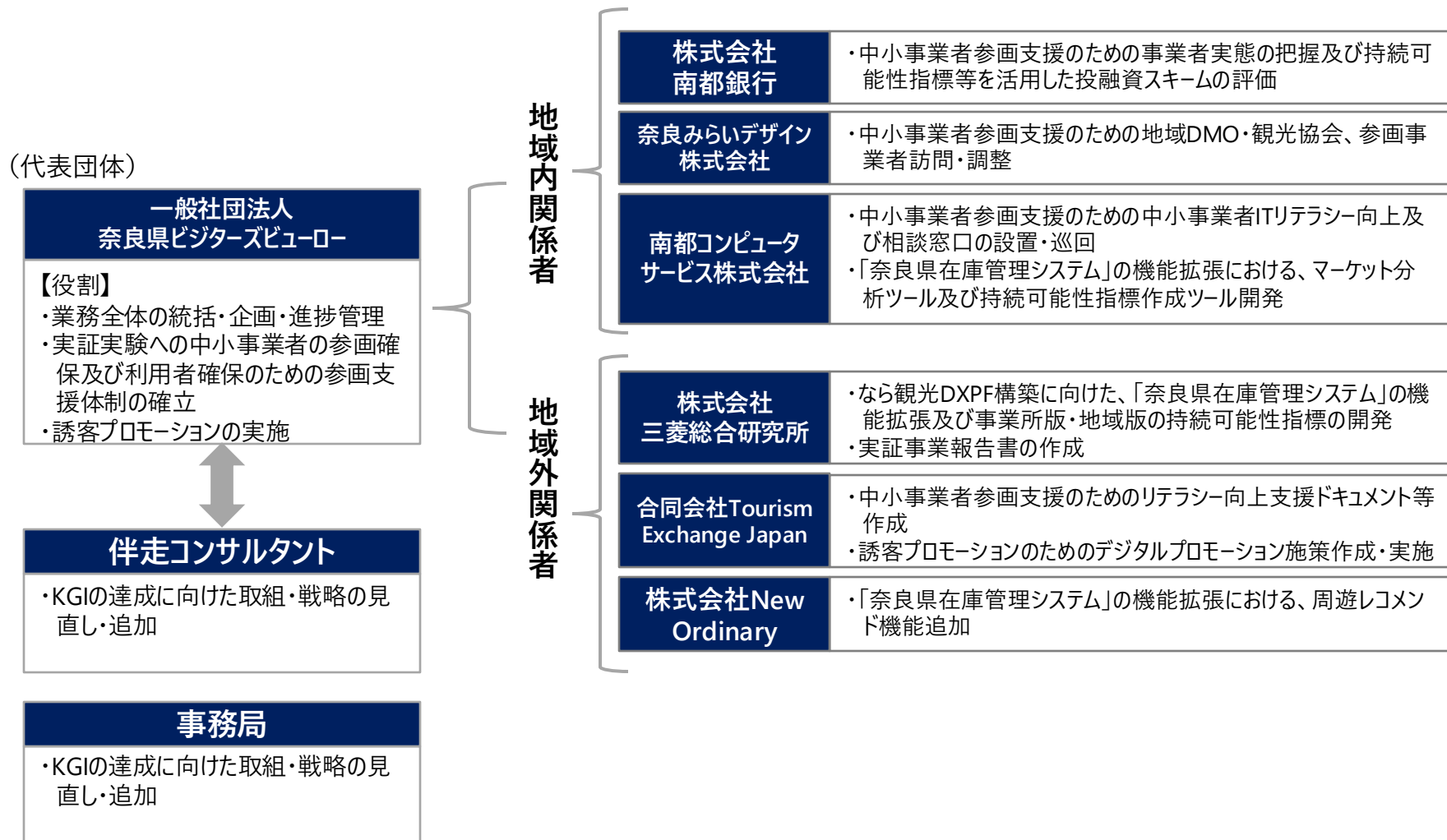


6.実施体制

6.実施体制

1.体制図

本実証事業を推進した実施体制や役割分担を示します。



7.おわりに

7.おわりに

- 本実証実験のポイントは、地域の観光DXPFへの事業者の積極的な参画であり、そのための勧誘及び必要な登録手続き支援体制を構築した。しかし、事業者参画促進のためには、**観光振興における地域の体制、DMOと事業者の信頼関係が重要**であることが再認識された（DXPFへの参画、取引情報等調査への協力は、信頼関係の強い事業者で実現）。
- 本実証事業を実施したコンソーシアムは、奈良県での観光DX実装、地域の観光事業者・DMO・地域金融機関が一体となる新たな産業共同体を構築するために2023年11月に組成したものである。発足間もないこともあり、地域における事業者の意識や活動状況・課題認識の理解とコンソーシアムとしての信頼関係の構築が十分ではない状況での取組となった。
- 今後も、本実証実験の成果を踏まえて、なら観光DXPFの展開を図っていくが、他地域においてもDXPF推進体制の各メンバーが持続的に係る経済的なメリットを持つ工夫をおこなうことに加えて、多くの事業者の参画を得るためには小規模であっても類似の取組における成功を積み上げたうえで、大規模に展開することが重要と考える。